



障がい児服プロジェクト 半期活動報告書

生地の M

運営法人

株式会社 BISITS

代表取締役 宮島大輔

本社

〒105-0004

東京都港区新橋 2 丁目
16-1

ニュー新橋ビル 704A-2

岐阜オフィス

〒501-3773

岐阜県美濃市もみじが丘
1 丁目 90 番地

目次

ご支援者様へのご挨拶	3
私たちがこのプロジェクトで達成したいこと	4
活動の記録	5
活動経費・収支報告	7
展望と課題	8
継続ご支援のお願い	9
生地の M『障がい児服プロジェクト』スタッフ紹介	10

ご支援者様へのご挨拶

日頃より私たちのプロジェクトへのご支援と信頼に心より感謝申し上げます。

おかげさまで、当プロジェクトは昨年 12 月に本格的な活動をスタートし、私たちがこのプロジェクトで達成したいことを形にするための重要な一歩を踏み出すことができました。

このレポートは、プロジェクト始動から約半年が経ち、現在の進行状況をお伝えするために作成しました。これまでの活動や、現在直面している課題、そしてこれからの展望についてをご報告致します。

皆様のご支援は、私たちが目指す目標に向かって進み続ける原動力となっております。

これからも透明性を保ちつつ、皆様に私たちのプロジェクトの成果をお伝えできるよう、定期的な情報公開を行って参ります。

どうぞ、これからもお力添えを宜しくお願い致します。



生地の M 障がい児服プロジェクト
代表 宮島大輔

私たちがこのプロジェクトで達成したいこと

■ 障がいを持つ子ども達へ、身体に合った衣服をオーダーメイドでお届けする

寝ていても痛くない服、おしゃれを楽しめる衣服や小物、市販品では手に入らずお困りのものを、ハンドメイドでお届けすること、そしてそれらを気軽にオーダーできることを目指していきます。

■ ハンドメイド作家さんにオーダーできる仕組みを作る

私たち生地の M では、ハンドメイドの評価や価値を高め、ハンドメイド作家さんが収益を上げられる環境を作ることを目指し、様々な活動を行っています。当プロジェクトでも作家さんに然るべき報酬をお支払いして、衣服や小物の製作をオーダーできる仕組みを作っていきたいと考えています。

■ 次世代の服作りに挑戦する

当プロジェクトでは、最新のテクノロジーと日本伝統のハンドメイド文化を掛け合わせて個々の特徴にあった次世代の服作りに挑戦していきます。

そのひとつとして、3D スキャナを使った衣服や小物製作に取り組んでいます。

3D スキャナで身体をスキャンし、得たデータでトルソー（商品などを着せてディスプレイする人型のツール）をデジタル上で作ることができます。

そうすることで

- ・試着の度にじっとしてもらったり触れたりすることを減らしお子様への負担を軽減
- ・障がいによって異なる形状に対応
- ・現地に赴く回数を極力減らしスピーディーに完成品をお届けできる

といったことが可能になります。

活動の記録

私たちの半年間の活動は、オーダーをいただいた際に必要となる工程を把握し、プロジェクトの組織体制を整えるべく、まずは少人数での活動を行って参りました。

今回は、依頼を受けた一歌ちゃんにスタイをお届けするまでの活動記録をご報告します。

「一歌ちゃんにぴったり合うスタイをお届けします！」

活動期間：2022年12月5日～2023年6月2日

一歌ちゃんは現在特別支援学校に通う7歳のお子さんで、知的障がいと先天性の筋疾患（生まれつき筋肉が少ない、筋力が弱いなどの症状を認める疾患）があります。

今回のスタイ制作に関する親御さんからのご要望

- ・頭部を守る為に着用しているヘッドギアを外さなくても着脱しやすいものが良い
- ・食べこぼしをしても手入れがやすく衛生的に管理できるものが良い

採寸

採寸の為、ご自宅に訪問

3D スキャナでの計測を試みるも、少しの動きでエラーになってしまいうまく読み込むことができず、この日は従来通りのメジャーでの採寸を行いました。

試作

親御さんからのご要望をヒヤリングの上、3パターンを試作しました。



試着

着脱のしやすさやサイズ感、実際に使用してみでの改善点などを確認します。



2回目の試作・試着

1回目の試着後に決定したデザインを元に、さらに機能性を改善。2回目の試着で最終確認します。



デザインの決定・本縫製・納品

最終的なデザインは、首元のフリルと胸ポケットで食べこぼしをしっかりキャッチし、前身頃をランチョンマットのように机に乗せて使用できるように長さを調整しました。

型紙を縫製スタッフへ、納品用に5枚のスタイを縫製。

納品後、親御さんからは希望通りの機能とデザインで使用感もとても良いとのコメントをいただきました。

頭から被るタイプなので、一歌ちゃんが自分で脱いでしまうこともありません。

一歌ちゃんの通う学校では給食中にエプロンやスタイの着用が求められるため、今後ご自宅と学校で活用していただけるものになりました。



当プロジェクトの活動の記録はブログでも公開しております

<https://kijino-m.jp/blogs/shougaijipj-katsudouhoukoku>



活動経費・収支報告

クラウドファンディング収支

報告期間: 令和4年12月5日～ 令和5年 5月31日

収入の部

日付	摘要	金額	備考
	令和4年10月実施CAMPFIRE(クラファン) 総支援金額	1,170,000	
	クラファン返礼品(生地割引クーポン)	△ 445,000	※生地原価発生分のみ計上
	CAMPFIRE(クラファン) 手数料4%・決算手数料5%	△ 115,830	
	収入合計	609,170	

支出の部-製作費

日付	摘要	金額	備考
12月	1stサンプル用資材・送料一式	2,580	
2月	2ndサンプル用資材・送料一式	7,621	
3月	量産用資材・送料一式	5,841	
	パターン代 4型(サンプル提案分含む)	20,000	1型 5000
	縫製代(サンプル分6着)	18,000	1着(3h)3000
	縫製代(量産分5着)	15,000	1着(3h)3000
	支出合計	69,042	

収入合計 609,170

支出合計 69,042

差引残高 540,128

活動経費明細書

報告期間: 令和4年12月5日～ 令和5年 5月31日

支出の部-活動費

日付	摘要	金額	備考
12月5日	採寸訪問: スタッフ交通費(2名)	35,040	千葉～岐阜(電車)24810 美濃～尼崎(車)10230
12月15日	1stサンプル資材購入: スタッフ交通費(1名)	694	
2月15日	1stサンプル試着訪問: スタッフ交通費(4名)	36,820	千葉～岐阜(電車)24810 美濃～尼崎(車)10230 愛知～岐阜(電車)1780
3月14日	2ndサンプル試着訪問: スタッフ交通費(4名)	36,820	千葉～岐阜(電車)24810 美濃～尼崎(車)10230 愛知～岐阜(電車)1780
3月14日	スタッフ宿泊費(1名)	6,408	
	支出合計	115,782	

※当プロジェクトの活動経費(交通費・宿泊費)の支出に関しては生地の M 事業から拠出

展望と課題

■ 次世代の服作りへの挑戦について

今後、洋服のお直しやオーダーメイドを行う Coatolie(コアトリエ)代表の大山氏と、九州大学のご協力により、3D スキャナと 3DCAD を使用したデジタルトルソーの実用実験を進めていきます。

■ 認知の拡大

マスメディアへの露出によって世間の関心を集めること、それと共に施設や団体への訪問・広報活動、またマルシェなどイベントへの出店によるチャリティ活動や広報活動を行っていく予定です。

■ 組織作りについて

現在、当プロジェクトには有志で参加している 42 名のメンバーがいます。

その中で広報・企画・製作デザイン・製作縫製などのチーム分けを行い、効率よく動ける組織体系を作ることを目指します。

また、プロジェクトメンバーが安心して活動できるルールや規約づくり、オーダーを受ける際の契約書についても早急に準備を進めます。

■ 製作費の削減と製作期間の短縮

製作費につきましては現状、フルオーダーでの提供ではこれ以上のカットが難しく、量産できるアイテムの開発や、市販品をリメイクすることでコストカットする方法も模索していきます。

製作期間については、2/3 にカットすることを当面の目標とします。

メンバー数の増加と組織のチーム分けによって製作の効率化をはかり、複数ラインの構築を目指します。

■ 活動資金の確保

この半年間の活動は体制を整えるべく少人数で行ってまいりましたが、収支報告の通り、製作費以外の活動費も予想以上に多くかかることがわかりました。

上記で記載した通り、コストカットも今後の課題として取り組んでいきます。

その上でこのプロジェクトを継続した活動にしていく為に、活動資金をどのように確保していくかが課題です。

- ・チャリティ募金活動
- ・クラウドファンディングの実施
- ・財団法人の設立

など、先駆者からのご意見を賜りながら仕組みの構築を進めて参ります。

継続ご支援のお願い

当プロジェクトでは、生地 M 公式ショップにて引き続き支援金を募っております。

今後、障がいを持つお子さん・親御さんに、以下の衣服や小物の提供を予定しております。

〈提供予定の品目〉

- ロンパース、スタイ、レッグカバー、T シャツ、
- バギー用ブランケット
(車椅子やバギーのサイズに合わせて落ちないように加工を施したもの)
- バギー用バッグ(車椅子やバギーでの移動時に使用する介助者用のバッグ)
- その他、個別にオーダーをいただいたアイテム

いただいた支援金は、製作材料費、活動費(採寸・試着時の移動費など)、製作する作家さんへの製作料として充てさせていただきます。

目安として、3000 円でスタイを 1 枚お届けできるようにしていきたいと考えています。

しかしながら、初期段階では材料費・活動費・製作費で 1 枚のスタイに 3,000 円以上かかってしまうのが現状です。

今後、施設などへ複数枚のスタイを提供できるようになったり、過去に作成した型紙データを転用できるようになるなど、活動の経験・実績を積むことで、費用を抑えて仕上げるができるようになると考えています。

毎月ご支援くださる方が増えれば、その分提供できる品目が増えてまいりますので是非ともお力添えを宜しくお願い致します。



生地 M クラウドファンディング

<https://kijino-m.jp/blogs/shougaijifuku-pj/crowdfunding>



生地の M『障がい児服プロジェクト』スタッフ紹介

■代表

宮島 大輔

■プロジェクトリーダー

太田 由美子

■プロジェクトメンバー

有志 42 名様

■製作

倉地 弘子

倉富 美佳

■広報

野間 綾

■企画

久枝 勝

石崎 貴文

吉田 慈

鷺見 政博

長屋 恵一郎

井関 達哉

舟橋 久美

生地の M 公式ショップ

<https://kijino-m.jp/>



お問い合わせ先

support@kijino-m.jp